

平和の誓い

広島に原子爆弾が投下されてから、79 年が経ちました。

まだその頃生まれてもいなかった私たちは、その時代の想像すらもつきませんでした。これまで、ウクライナ戦争や水平社宣言を通して、平和について学習してきました。学習を通して戦争とは、多くの犠牲を生み出し、悲しみ、苦しむ人々が数えきれないほど多くいることを改めて知り、非常に悲しく思いました。私たちが考える平和とは、争いがなく、穏やかで自然に笑い合うことができる世の中のことです。戦争は、「平和」を奪っているように感じます。毎日あたりまえに生きてきたはずだったのに、あのたった一瞬で多くの犠牲者を生むことを考えると心が痛みます。

また、世界へ視野を向けてみると、まだ終わらない戦争や、紛争が起こっていて、「平和」とは程遠い生活を送っている国もあります。被害に遭い、怯えて、苦しんでいる人々もたくさんいます。なぜ罪のない人々が犠牲になって苦しまなければならないのでしょうか。戦争を起こさないためには、世界中が国を尊重すること、すぐ争いに持ち込まないようにすることが大切なのではないかと考えました。私たちは、世界中の人々が、幸せな日々を送れるようになることを願っています。

現在の日本では、数々の事件は起こっていますが、ほとんどの人がなに不自由なく、毎日何気ない、「平和」と呼べる日常を送ることができていると思います。これは、とても幸せなことです。今、私たちが平和な日常を送ることができ、幸せだと感じるができるのは、このような苦しい過去があったからです。だからこそ、私たちはこの過去を風化させてはいけません。私たちは、戦争とは恐ろしく、二度とあってはならないことだと受け継がれてきました。それをまた、今度は私たちが後世へ伝えていくことが大切だと思っています。今後、私たちはこの経験を自分に繋げて行きたいと思います。今日、過去の広島や、日本で苦しんだ人々について真剣に学んでいきたいと思います。今、私たち中学生にできることは、今ある幸せ1日1日を大切に生きること、一人ひとりが学ぶ姿勢をつくることだと考えています。私たちは「太平洋戦争、世界で起きた戦争について」また、「平和」について学び続けていきます。今日ここ広島で学んでいくことは、決して忘れません。

誰もが平和だと思える世界にするために、一人ひとりが学び続けることをここに決意し、私たちの平和の誓いとします。

令和7年5月28日

木曾岬中学校 3年生一同